|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **１** | **基準Ⅰ** | **使命・目的** |
| **Ⅰ-１）教育理念** | | |

◆判定基準における評価内容

1. 教育理念・使命・目的およびディプロマポリシー（以下DP）・カリキュラムポリシー（以下CP）・アドミッションポリシー（以下AP）を明文化し、学校ウェブサイト、学生募集要項等で公表している
2. DPならびにAPが到達度を判定可能な表現で明示している
3. DPへの到達状況の確認など三つのポリシー（以下３P）の実効性を検証し教育研究組織を整備している

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* 自学の学生募集要項、ウェブサイトで教育理念・使命・目的・3Pなどを示す部分
* 教育理念・使命・目的が学校の中期的計画や3Pに反映されていることがわかる資料
* DPへの到達状況の確認など3Pの実効性を検証し教育研究組織を整備するための会議体の規則、運用がわかる議事録等の資料

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **２** | **基準Ⅱ** | **教員** |
| **Ⅱ-１）学科・専攻の長** | | |

◆判定基準における評価内容

1. 学士の学位を有し、かつ必要な教育・研修＊修了者である、またはそれに準ずる学識者 / 教育経験者である
2. 修士の学位を有する、もしくは10年以上の教育経験と必要な教育・研修＊修了者である
3. 博士の学位を有し、かつ10年以上の教育経験と必要な教育・研修＊修了者である

＊必要な教育・研修とは、教員長期講習会修了もしくは認定・専門療法士の資格取得を指す

＊基幹教員制度を導入している大学においては、当該の基幹教員が他の養成機関において、認証評価対象となる基幹教員、専任教員ではないこと（教員はいずれか一課程のみで認証評価対象の教員とする）

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* 様式２-１、２-２
* 自学のウェブサイト、リサーチマップなど学科・専攻の長の教育・研究成果を示す部分のURL
* 学位記、教員長期講習修了書、認定・専門療法士の資格証
* 基幹教員制度を導入している学校においては、専ら当該学校の教育研究に従事し主要授業科目を担当する教員であることを証明する雇用契約等に関する資料

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **３** | **基準Ⅱ** | **教員** |
| **Ⅱ-２）教員要件** | | |

◆判定基準における評価内容

1. 専任教員は指定規則で定める専任教員の基準およびガイドラインに定める事項を遵守するとともに、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の専任教員は全員が各職能団体の協会員であることを養成課程として求めている
2. 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の専任教員は全員が各職能団体の協会員であり、その半数は必要な教育・研修＊の修了者である
3. 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の専任教員は全員が各職能団体の協会員であり、かつ全員が修士以上の学位を有し、必要な教育・研修＊の修了者である

＊必要な教育・研修とは、教員長期講習会修了、臨床実習指導者講習会修了、認定・専門療法士、その他教育に資する取得資格を指す

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* + 様式２-１、２-２
  + 協会員であることがわかる資料
  + 学位、教員長期講習修了証書、臨床実習指導者講習会修了証書、認定・専門療法士の資格証、その他教育に資する取得資格証（教員免許、福祉住環境コーディネーター．ケアマネージャー、精神保健福祉士、介護福祉士、公認パラスポーツ指導員、アスレティックトレーナー）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **４** | **基準Ⅱ** | **教員** |
| **Ⅱ-３）教員数・教員配置** | | |

◆判定基準における評価内容

1. 指定規則で定める定員数に応じた教員数＊を確保するとともに、臨床実習調整者を専任教員から１名以上配置している
2. １人１週間あたりの担当授業時間数がPT・OTは10時間程度、STは15時間程度である．また、臨床実習調整者は臨床実習指導者講習会を修了している
3. 指定規則で定める専任教員は全員臨床実習指導者講習会を修了するとともに、専ら従事する養成施設の管理のもと臨床に携わるなどにより臨床教育能力の向上に努めている

＊専門職大学は専任教員における４割以上が実務家教員であること

＊基幹教員制度を導入している大学においては当該の基幹教員が他の養成機関において、認証評価対象となる基幹教員・専任教員ではないこと（教員はいずれか一課程のみで認証評価対象の教員とする）

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* + 様式２-１、２-２
  + 臨床実習調整者が実効的に実務にあたっていることがわかる資料ならびに臨床指導者講習会の修了証
  + 担当授業の配置を一覧にした表
  + 養成施設の管理のもと臨床に携わっていることを認め、実際に臨床に携わっていることがわかる資料
  + 専門職大学においては実務家教員の比率がわかる資料
  + 基幹教員制度を導入している学校において、基幹教員が専ら当該学校の教育研究に従事し、他の養成機関の基幹教員・専任教員ではないことがわかる資料

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **５** | **基準Ⅱ** | **教員** |
| **Ⅱ-４）教科目と専門性** | | |

◆判定基準における評価内容

1. 担当科目の教育に資する専門の団体・学会における発表等の経験を有し、さらに臨床系の科目においては当該科目に応じて関連する専門領域での臨床実務経験を有する
2. 担当科目に応じて関連する専門領域の研究業績（教育講演、総説、原著論文）を有する
3. 担当科目に応じて各協会が定める認定・専門療法士資格もしくは専門学協会・学会が認定する指導資格等を有する

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* + 様式２-１、２-３
  + 担当科目と専門性の関係性を判断できる臨床の実務経験、関係の専門団体・学会における活動・発表等の経験がわかる資料
  + 自学のウェブサイト、リサーチマップなど教育業績・研究業績の具体がわかる資料
  + 担当科目に応じて各協会が定める認定・専門療法士資格もしくは専門学協会・学会・団体が認定する指導資格の資格証明

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **６** | **基準Ⅲ** | **教育** |
| **Ⅲ-１）単位** | | |

◆判定基準における評価内容

1. 指定規則に定める教育内容＊と単位数に応じた科目および授業時間数を設定している
2. 年間の授業週数に応じた適切なCAP制を設け、学生への履修単位数の指導を行っている
3. GPA等を用いたCAPの増減の規程、履修指導方針の検討等、単位の実質化（１単位あたりの学修量の確保）に資する取組みを行っている

＊専門職大学は基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科目での規程を確認する

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* + 様式３（基礎、専門基礎、専門、職業専門、展開、総合の分類ごと全て作成・提出）
  + CAPについて学生へ周知する学生便覧等の資料ならびに実効性をもって履修単位指導を行っていることを示す資料
  + GPA等を用いたCAP増減の規程を定めるとともにそれに基づく履修指導方針等を検討し単位の実質化に資する取組みを行っていることがわかる会議体および議事録などの資料
  + ■学生面談を行い判定基準における評価内容について確認する

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **７** | **基準Ⅲ** | **教育** |
| **Ⅲ-２）教育課程の編成** | | |

◆判定基準における評価内容

1. DPやCPを踏まえたカリキュラムツリー（各科目の連続性）を定め周知している
2. カリキュラムツリーなどを用いた教育課程の体系的編成が実効性を伴って行われている
3. DPやCPを踏まえた特色ある科目・教育プログラム・コースを設定し学生へ多様な学びを提供している

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* カリキュラムツリーがわかる資料
* カリキュラムツリーなどを用いた教育課程の体系的編成が実効性を伴って行われていることを示す時間割などの資料
* DP、CPを踏まえた特色ある科目、教育プログラム、コースの設定がわかる資料
* 特色ある科目、教育プログラム、コースの設定に関して検討した会議体ならびにその議事録
* 特色ある科目、教育プログラム、コースの学修成果を検討・判断に資する資料

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **８** | **基準Ⅲ** | **教育** |
| **Ⅲ-３）教育方法** | | |

◆判定基準における評価内容

1. シラバスと実際の講義・演習・実習の内容が合致し授業時間数を遵守している
2. PBL、e-learning、ディベートなどを組合わせることで授業を聞く以上に高次の思考や活動や探究に関与することを可能とするアクティブラーニングを行うとともに相応なクラスサイズとなるよう教員を配置している
3. 地域貢献活動や研究活動を講義、演習、実習に取り入れているなど特色ある教育プログラムを有している

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* 全科目のシラバス
* アクティブラーニングの具体がわかるシラバスや講義計画、授業資料
* オンライン教育ツールを用いており、書面調査に資料添付することが難しい場合には、実地調査にて教育方法の具体的内容がわかる資料を閲覧できるように準備すること
* 地域貢献活動や研究活動などを取入れた特色ある教育プログラムを実践していることを示す資料
* ■学生面談を行い判定基準における評価内容について確認する

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **９** | **基準Ⅲ** | **教育** |
| **Ⅲ-４）単位認定・卒業判定** | | |

◆判定基準における評価内容

1. 全ての科目において、シラバスに到達目標と合致した複合的評価により単位認定を行うことを明記しそれを実行している
2. 進級基準、卒業認定基準を明文化し厳正に適用している
3. プレ・ディプロマサプリメントやディプロマサプリメントを作成し、学修計画や学修成果の確認にあたり有機的に活用している

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* 到達目標に合致した複合的評価にて単位認定を行うことをシラバスに明記しそれを実行していることがわかる資料
* 進級基準、卒業認定基準を明文化した資料
* 進級・卒業について検討し、厳正に適用していることがわかる会議体等の資料
* 留年等にあたりその対応を検討したことがわかる会議体の議事録や面談記録等の資料
* プレ・ディプロマサプリメントやディプロマサプリメントがわかる資料
* プレ・ディプロマサプリメント、ディプロマサプリメントを学修計画や学修成果の確認にあたり有機的に活用していることがわかる資料

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **10** | **基準Ⅲ** | **教育** |
| **Ⅲ-５）教育の質・学修成果** | | |

◆判定基準における評価内容

1. 授業評価を行いその結果を教員へ周知するとともにFD・SD活動を通じて教育の質向上に努めている
2. 学業達成率（ストレート卒業生数/入学時学生数）が80％以上である
3. 新卒者の国家試験合格率が90％以上である（過去３年間の平均値）

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* 様式４
* 授業評価を学生への周知していることがわかる資料
* 授業評価の結果を教員へ伝えるとともに、FD・SD活動を通じて教員の教育の質向上を行っていることがわかる資料
* 学業達成率の根拠資料
* 国家試験合格率の根拠資料

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **11** | **基準Ⅲ** | **教育** |
| **Ⅲ-６）教室・実習室・教育設備・教育備品** | | |

◆判定基準における評価内容

1. 指定規則およびガイドラインで定める教室、実習室、教育上必要な教材・備品・図書・雑誌を必要数整備している
2. 小グループ学修、個別指導に適した環境を整備し、教室、教材、備品の保守・点検・管理を定期的に行っている
3. IT、デジタル教育設備を整備するとともに、機器、備品、図書、雑誌等は適宜最新のものにアップデートしている

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* 指定規則に応じた教室等の図面、教材、備品・図書・雑誌等の一覧を示す資料
* 教室、教材、備品・図書・雑誌等の保守・点検・管理・アップデートを定期的に行っていることがわかる会議体、事務部局の取組みがわかる資料
* IT、デジタル教育設備の設置・運用状況がわかる資料
* ■学生面談を行い判定基準における評価内容について確認する

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **12** | **基準Ⅳ** | **臨床実習** |
| **Ⅳ-１）構成・時間数** | | |

◆判定基準における評価内容

1. 指定規則およびガイドラインで定める臨床実習単位数と１単位あたりの時間数を遵守するとともに、前後評価における学生一人当たりの学修時間数を適切に管理している
2. 臨床実習科目を適切な年次に偏りなく配置し、臨床実習前の評価を踏まえた実習計画の立案に学科・専攻全体として取組んでいる
3. 実習時間数を考慮した課題を設定するとともに、課題の達成状況ならびに多様な経験が出来ているかについて、臨床実習指導者や学生と相互に確認し情報共有を図っている

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* 様式５
* 臨床実習指導要領など臨床実習の年次計画、前後評価の内容を確認できる資料
* OSCE運用マニュアルなど学生一人当たりの前後評価にかかる時間を確認できる資料
* 実習時間数を考慮した課題量を検討し設定していることがわかる会議体等の資料
* 課題の達成状況や多様な経験ができる臨床実習の構成となっているかを検討した会議体等の資料、ならびに、教員、臨床実習指導者、学生が情報共有を図っていることを確認する資料
* ■学生面談を行い判定基準における評価内容について確認する

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **13** | **基準Ⅳ** | **臨床実習** |
| **Ⅳ-２）施設** | | |

◆判定基準における評価内容

1. 行政への指定申請施設のうち、実習時間の三分の二以上を医療提供施設にて、そのうちPT・OTは二分の一以上、STは８単位以上を病院又は診療所にて行っている
2. 病期・障害・年齢等を偏りなく対応するために必要な能力を培う実習施設を確保している
3. 学校に近接しかつ専任教員の要件を満たす臨床実習指導者が従事する実習施設との間で教育計画の策定等にあたって十分に連携し、教育の質の向上に資する体制をとって指導を行っている

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* 様式６
* 受審年度が最終学年の各学生が受審年度（総合臨床実習）およびそれ以前の年度で行った評価実習、見学実習を行った実習施設（医療提供施設かどうかがわかること）の一覧
* 学校に近接しかつ専任教員の要件を満たす臨床実習指導者が従事する実習施設、いわゆるPT・OTについては主たる実習施設との契約などの関係を示す資料、STはこれに準ずる施設との連携状況を確認することができる資料

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **14** | **基準Ⅳ** | **臨床実習** |
| **Ⅳ-３）指導者** | | |

◆判定基準における評価内容

1. ガイドラインで定める臨床指導者の要件を全ての指導者が満たしている＊
2. 臨床経験10年を超える指導者が30％以上を占める
3. 各協会の認定・専門療法士の有資格者が30％以上を占める

＊PT・OTとSTでは臨床実習指導者要件が異なることを踏まえた対応とする

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* 様式６

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **15** | **基準Ⅳ** | **臨床実習** |
| **Ⅳ-４）指導体制** | | |

◆判定基準における評価内容

1. 実習人員と実習指導者の対比が適切であり、同時指導は2名までである
2. 臨床実習指導者連絡会議を開催するとともに実習前後・実習期間中に実習指導者と情報共有を図っている
3. 専任教員が臨床実習期間において週に１日以上いずれかの臨床実習施設の臨床教育に参加し、学生へ直接指導を行っている

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* 様式５
* 臨床実習指導者連絡会議などの開催を示す開催案内、議事録ならびに学生の状況を臨床実習の前後で情報共有を図っていることがわかる資料
* 専任教員が実習期間中の週に１日以上いずれかの臨床実習施設において臨床教育に参加していることがわかる資料
* 学生の臨床実習先配置表

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **16** | **基準Ⅳ** | **臨床実習** |
| **Ⅳ-５）教育方法** | | |

◆判定基準における評価内容

1. 実習生が診療チームの一員として加わり、常に臨床実習指導者の指導・監視の下で実習を行っている
2. 実習生が実施可能な基本技術の水準を整理し学生の能力にあった臨床教育を行っている
3. ルーブリックを作成するなど教員、実習生、臨床実習指導者が具体的な教育目標を設定し学修到達度を共有しながら臨床教育を行っている

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* 実習指導方法を臨床実習施設へ示した臨床実習指導要領
* 具体的には、診療参加型実習、基本技術水準の整理、技術項目チェックリスト、OSCE、教育評価ルーブリックなどの具体的内容ならびにその実際の運用状況がわかる資料
* ■学生面談を行い判定基準における評価内容について確認する

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **17** | **基準Ⅴ** | **学生** |
| **Ⅴ-１）学生の受け入れ** | | |

◆判定基準における評価内容

1. APに基づく入学者選抜を適切な体制のもと公正に実施し、入学後の学修状況等により入学者選抜の適切性の検証を行っている
2. 入学生数は学則に定められた入学定員を守っている（過去３年の入学定員充足率0.95〜1.1倍）
3. 選抜効果が高い入学試験を行っている（過去３年の各年度実質倍率（延べ出願者/延べ合格者）が３倍以上）、もしくは選抜効果が高くない場合には実効性のある入学前教育を行っている

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* 様式７
* 受験生に対するAPを明記した学生募集要項や学生募集に関するweb上資料のURL、APを策定する会議体の規則等
* 入試方法の検討と検証を行う会議体の規則等
* 過去３年の各学年の在籍学生数の推移（留年、退学数など）がわかる資料、ならびに過去３年の入学者数・入学定員充足率がわかる資料
* 過去３年の実質倍率を示す資料
* 入学前課題の実施状況がわかる資料

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **18** | **基準Ⅴ** | **学生** |
| **Ⅴ-２）学修支援** | | |

◆判定基準における評価内容

1. 教職協働による学生への学修支援に関する方針・計画・実施体制を整備・運営している
2. 障がいのある学生への合理的な配慮を行うとともに中途退学・休学・留年等への対応策を行っている
3. 学修支援のために、TA（Teaching Assistant）制度を整備しているか、有資格大学院生等を適切に活用している

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* 学部、学科、専攻、職員における学修支援に関する方針、計画等を整備・運営していることがわかる教務委員会等の組織、会議録など
* 障がいのある学生への合理的な配慮を行っていることを示す資料
* 中途退学、休学及び留年などへの対応策を講じていることがわかる会議録などの資料
* TAや有資格大学院生などと適切に契約し学修支援において活用していることがわかる資料

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **19** | **基準Ⅴ** | **学生** |
| **Ⅴ-３）キャリア支援** | | |

◆判定基準における評価内容

1. 教員によるキャリア支援および教育（国家試験対応を含まない）を各年次に行っている
2. キャリア支援を教員だけでなく、教職協働によって行う体制を整備している
3. 卒業後のキャリア支援に必要な事務手続き等の支援体制を整備し実行している

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* 教員がキャリア支援、キャリア教育を行っていることがわかる会議等の議事録、講義シラバス、支援・教育体制がわかる資料
* キャリア支援に関する教職協働の会議体の規則、会議議事録、ならびに教育課程外のキャリア支援のための講座やガイダンスの実施状況がわかる資料

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **20** | **基準Ⅴ** | **学生** |
| **Ⅴ-４）学生サービス** | | |

◆判定基準における評価内容

1. 学生サービス、厚生補導のための組織（学生委員会など）を設置し適切に機能している
2. 学生の意見のもとに心身に関する健康相談、心的支援、生活相談、学生の課外活動への支援をはじめとする学生サービスを学生の多様性に配慮し行っている
3. 奨学金など学生に対する経済的な支援を適切に行っている

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* 学生生活支援に関する方針・計画
* 学生生活支援に関する会議体の規則、保健室、健康管理室・体制の運営規程と実際の運用状況がわかる資料
* 学生の課外活動の支援に関する規則
* 奨学金に関する規則

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **21** | **基準Ⅴ** | **学生** |
| **Ⅴ-５）ハラスメント防止** | | |

◆判定基準における評価内容

1. ハラスメント防止規程を整備するとともに、ハラスメント防止を目的とした研修会を定期的に実施している
2. ハラスメント防止を目的とした研修会を受審課程の全ての教員が少なくとも年に１回は参加・受講している
3. 学生、教職員、臨床実習指導者、保護者等へのハラスメント防止への取り組みについて周知・啓発がなされている

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* ハラスメント防止に関する規程ならびに研修会の実施、出席管理に関する資料
* ハラスメント防止の取り組みについて、外部（臨床実習指導者、保護者）へ周知・啓発がなされていることがわかる資料

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **22** | **基準Ⅵ** | **管理・財務** |
| **Ⅵ-１）管理運営** | | |

◆判定基準における評価内容

1. 学校の意思決定の権限と責任が明確になっている
2. 教育研究活動のための管理運営の遂行に必要な職員を適切に配置し、役割を明確化している
3. 職員の採用・昇任の方針に基づく規程を定め、適切に運用している

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* 自学の意思決定に関する組織図、会議体の規則
* 学長（学校長）の職務権限に関する規則
* 教授会もしくはそれに準ずる会議体に関する規則
* 事務分掌に関する規則
* 職員採用・昇任の方針・規則

（専門職大学のみ）

* 教育課程連携協議会の規則、構成員名簿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **23** | **基準Ⅵ** | **管理・財務** |
| **Ⅵ-２）財務会計** | | |

◆判定基準における評価内容

1. 入学金・授業料・実習費等以外に学生・その保護者から寄付金その他の名目で不当に徴収していない
2. 教育研究経費等は教員個人ではなく経理関係事務局が管理し、会計基準や経理に関する規則を設け教職員に周知している
3. 外部資金の導入を推奨している

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* 受験生に対する募集要項、学生便覧、ホームページ等における学費学納金の案内を示す資料
* 会計基準や経理に関する規則と教職員への周知等を示す資料
* 外部資金導入への働きかけの実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **24** | **基準Ⅶ** | **内部質保証** |
| **Ⅶ-１）自己点検評価** | | |

◆判定基準における評価内容

1. ガイドラインで示される自己点検・評価を毎年度実施し、その結果を公表している
2. ガイドラインで示される５年以内ごとに第三者による機関別認証評価と分野別認証評価（これにJCOREを含む）を受けその結果を公表している
3. 学部・学科・専攻全体のPDCAサイクルの確立とその活用が図られている

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* ５年以内に受審した第三者評価（JCOREなど）の結果の公表を示す資料
* 内部質保証に向けた自己点検・評価の方針、組織図、会議体などの実効性を示す資料およびその結果の公表を示す資料
* 学部・学科・専攻全体でのPDCAの確立と実効性を示す会議等の議事録や資料

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **25** | **基準Ⅶ** | **内部質保証** |
| **Ⅶ-２）情報公表** | | |

◆判定基準における評価内容

1. 教育活動に伴うこと（組織、教員、授業計画、施設および設備、学生から徴収する費用）および、教育成果（資格取得、就職、進級・退学などの状況）を学校ウェブサイトなどで明示し公表している
2. 教育の特徴、教員が有する学位・業績、学校が行う学生の修学・進路選択及び心身の健康等にかかる支援、学校生活の様子を学校ウェブサイトなどで明示し公表している
3. 経営、管理運営情報を学校ウェブサイトなどで明示し公表している

**◆**自己点検評価　（該当数字を**□**で囲む）

１　基準を満たしてない

２　①を満たしている

３　①を満たし、②③のいずれかを満たしている

４　①②③全てを満たしている

◆自己点検評価結果の理由

◆自己点検評価結果における課題と対応

◆自己評価の根拠となる資料名・資料番号・エビデンス集の表示ページ等を記入（行が不足する場合は適宜追加すること）

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

◆指定するエビデンス資料

* 教育活動、教育成果、教育の特徴など評価内容に記載された内容を明示、公表しているホームページのURLなどの資料
* 教員が有する学位、業績をわかりやすく明示、公表しているホームページのURLなどの資料
* 学校が取り組む学修支援、進路選択、心身の健康等にかかる支援、学校生活の様子を明示、公表しているホームページのURLなどの資料
* 経営、管理運営情報を学校のウェブサイトなどで明示し公表していることがわかるURLなどの資料